マーケットデイリー
SMAM
（No.2,467）
〈マーケットレポートNo.4,820〉
2016年5月25日 情報提供資料
資産形成なら SMAM

今日のトピック 最近の指標から見る米国経済(2016年5月)

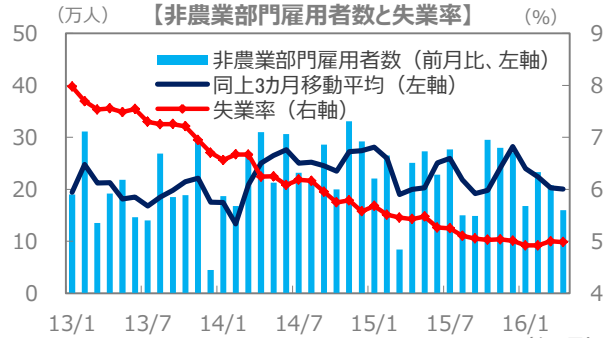
景気は拡大基調を維持、物価は低い水準で安定

ポイント1 雇用は増勢を持続

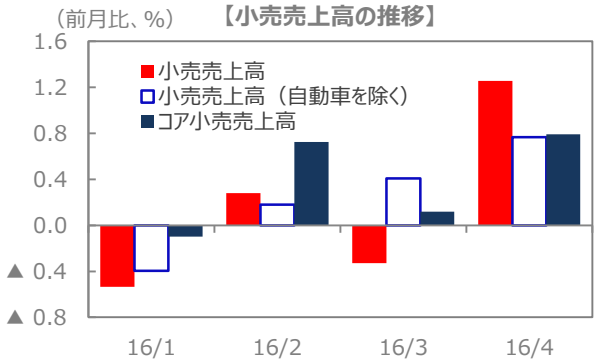
低調だった消費も回復

■4月の非農業部門雇用者数は前月比＋16.0万人の増加でした。前月の同＋20.8万人増から鈍化しましたが、暖冬の影響で1～3月の雇用が上振れした反動という、一時的な要因によると見られます。失業率は5.0%と、ほぼ完全雇用の水準にあります。

■同月の小売売上高は前月比＋1.3%増、自動車を除いても同＋0.8%増でした。天候要因などによって低調だった1月～3月から、急回復しました。



（注）データ期間は2013年1月～2016年4月。
（出所）米労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



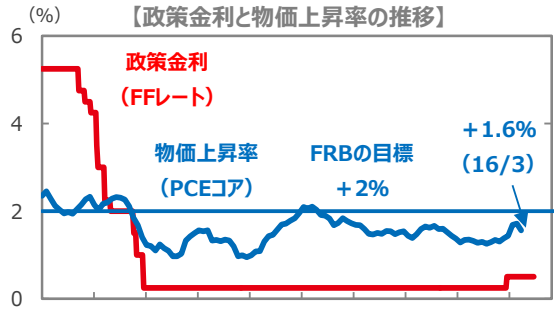
（注）データの期間は2016年1月～4月。コア小売売上高は全体から 自動車、ガソリン、建材をひいたもの。
（出所）米商務省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 企業の景況感は堅調

物価上昇率は低い水準で安定

■供給サイドの指標も堅調です。4月のISM指数は製造業が50.8、非製造業が55.7でした。その内容から判断すると、製造業は在庫循環の上昇局面に入り、非製造業は拡大ペースが再加速したもようです。

■一方、物価を見ると、米連邦準備制度理事会（FRB)が注視する個人消費支出（PCE)コアデフレーターの前年比上昇率は直近3月時点で＋1.6%と、FRBの目標値である＋2.0%を下回った状態が続いています。



（注1）FFレートは2007年1月5日～2016年5月24日。2008年12月以降のFFレートは誘導レンジの上限を表示。
（注2）物価上昇率は2007年1月～2016年3月。PCE（個人消費支出）コア物価指数の前年同月比。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 金融資産に有利な環境

■景気の持続的な拡大を背景に、FRBは利上げを継続すると予想されます。ただ、景気拡大の速度が緩やかなこと、物価上昇率が低い水準にあることから、引き上げの速度は緩慢なものになると考えられます。

■緩やかな景気拡大、落ち着いたインフレ率は株、債券の双方にとって良い環境です。今後、株価は景気、企業収益の拡大を織り込む展開が見込まれます。

ここもチェック!
2016年5月9日 米国の雇用統計（2016年4月）
2016年5月6日 米国のISM景況感指数（2016年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。